協 会 報

日本林業

● 2022年 8月号 ●
発行日： 2022年 8月12日

発行： 一般社団法人 日本林業協会
〒 112-0004
東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階
TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932
編集･発行人 島田 泰助

協会からの情報提供は

- 一般向け情報誌
『森林と林業』
（毎月25日発行）
- 会員向け情報誌
『協会報日本林業』
（毎月5日発行）

いずれも土日祭日は繰り下げ発行となります。

目次：

コンクール表彰内容拡充に 長野麻子氏 新会社設立へ	1
◇木材利用優良施設等コンクール ◇モクコレ2020 ◇ジャパン ウッドデザイン	2―4
林野庁人事異動	5―6
行事日程	6

木材利用施設などを表彰するコンクールでの 大臣賞や表彰対象分野の追加が続々 ～都市の木造化推進法の制定で加速化～

昨年10月に施行された『脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律』の第31条において、木材利用の促進に関し特に顕著な功績をあげたものを表彰することが規定されました。これにより、これまで民間団体等の主催で行われてきた各種のコンクールが政府の支援を受けて内容が拡充されることとなり、新たに大臣賞が創設されたり表彰分野が新設されるなど、独自のアイデアや技術的な工夫で取組まれてきた木材利用施設などが脚光を浴びる場が充実されました。以下、その代表的な例をご紹介します。

まず、木材利用推進中央協議会が主催する『木材利用優良施設等コンクール』ですが、本年度から新たに文部科学大臣賞と国産材利用推進部門が創設されました。また、日本ウッドデザイン協会が主催する『ウッドデザイン賞2022』では、新たに経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞が創設されました。さらに、東京都が主催する「WOOD コレクション（モクコレ）」が今年は『WOOD COLLECTION 2022 JAPAN ReWOOD』の名称で国産材に特化した展示商談会として開催されます。次頁以降で各事業の詳細をご説明します。

長野麻子氏（元林野庁木材利用課長） 新会社設立をめざして農林水産省を退職!!

平成30年７月から３年間にわたって林野庁木材利用課長を務めた長野麻子氏が６月２８日付けで農林水産省を退職しました。「ウッドチェンジ」を合言葉に、木材利用の加速化、川上・川中・川下の協調による国産材供給体制の構築のため積極的な政策や予算措置の実施に東奔西走。森林・林業・木材産業界内外から、その行動力と発信力に高い評価と大いなる期待を持たれていた長野氏が「残りの人生を森のために使いたい。」と農林水産省を退職され、１０日(水)に新会社『（株）モリアゲ』を設立されました。新会社の概要や今後の取組みについては『森林と林業９月号』でご紹介します。

令和４年度木材利用優良施設等コンクール

主催：木材利用推進中央協議会

木材利用推進中央協議会では、我が国における木材利用の一層の推進を図るため、平成5年から木材利用分野の拡大や特色ある木材利用に資する施設等を対象として、その施主、設計者、施工者を表彰しています。今年度は、内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞に加え、文部科学大臣賞を新設しました。

また、今年度から新たに、国産材利用の拡大に向けた取組を積極的に行っている建築事業者等を表彰する「国産材利用推進部門」を設けました。この部門の最優秀者には農林水産大臣賞を授与します。

なお、受賞施設につきましては、『写真で見る「木」の施設』木造事例集（冊子、令和4年度版）に掲載いたします。みなさま奮ってのご応募をお待ちしております。

【募集期間】令和4年7月8日(金)～8月29日(月)

主催：木材利用推進中央協議会
後援：農林水産省、国土交通省、環境省、文部科学省
森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会
共催：都道府県木材利用推進協議会

賞の構成　Awards

＜優良施設部門＞
◆内閣総理大臣賞（1点）◆国土交通大臣賞（1点）◆木材利用推進中央協議会賞（2点）
◆文部科学大臣賞（1点）◆環境大臣賞（1点）◆審査委員会特別賞（2点）
◆農林水産大臣賞（1点）◆林野庁長官賞（1～2点）◆優秀賞（50点もしくは応募数の5割のいずれか少ない方の点数）

＜国産材利用推進部門＞
◆農林水産大臣賞（1点）◆林野庁長官賞（1～2点）◆木材利用推進中央協議会賞（2点）

木材利用推進中央協議会では、我が国における木材利用の一層の推進を図るため、平成5年から木材利用分野の拡大や特色ある木材利用に資する施設等を対象として、その施主、設計者、施工者を表彰しています。

今年度は、内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞に加え、文部科学大臣賞が新設されました。

また、新たに、国産材利用の拡大に向けた取組を積極的に行っている建築事業者等を表彰する「国産材利用推進部門」が設けられました。この部門の最優秀者には農林水産大臣賞が授与されます。

【募集期間】令和４年７月８日(金)～８月２９日(月)

WOOD COLLECTION 2022　『JAPAN ReWOOD』

主催：東京都・WOOD COLLECTION 2022 運営事務局

【報道関係各位】

JAPAN ReWOOD WOOD COLLECTION 2022
WOOD COLLECTION 2022「JAPAN ReWOOD」運営事務局

木材業界が新たにつながる、国産木材に特化した展示商談会
WOOD COLLECTION 2022
『JAPAN ReWOOD』開催

【開催期間】 2022年8月24日（水）～26日（金）10：00～17：00（26日のみ10:00～16:00）
【会場】 東京都立産業貿易センター浜松町館2階展示会場（東京都港区）

東京都（運営：公益財団法人 東京都農林水産振興財団・WOOD COLLECTION 2022「JAPAN ReWOOD」運営事務局）は、国産木材の価値再発見と普及に向けて、日本各地の川上の事業者と首都圏の川下の事業者のマッチングを推進する、国産木材に特化した展示商談会『WOOD COLLECTION 2022 **JAPAN ReWOOD**』を、2022（令和4）年8月24日（水）～26日（金）に東京都立産業貿易センター浜松町館2階展示会場にて開催いたします。

今こそ始まる、国産木材復興の一歩
JAPAN ReWOOD WOOD COLLECTION 2022
入場無料

都市部で多くの木材を利用している東京都では、早くから国産木材の利用促進の重要性に着目。国産木材の活用を進めるため、多層産材を含む全国の地域材を活用した木材製品の展示商談会「WOOD コレクション（モクコレ）」を毎年開催。一度の開催中止を経てオンラインで再開した2022年のイベントでも多くの参加企業・団体が集結し好評を博しました。

いま、**国産木材を取り巻く環境は大きく変化**しています。**「ウッドショック」**と呼ばれる**世界的な木材不足**や、ロシアとの木材輸出入禁止措置により**木材価格は高騰**しています。一方、国内では**国産木材への需要が増加**。また、脱炭素施策として、成長過程で二酸化炭素を吸収する森林の循環利用の重要性に各界が注目。高層ビル建材をはじめ、国産木材の新たな価値創造、幅広い産業への活用が、今後期待されています。

そこで東京都では、「ＷＯＯＤコレクション（モクコレ）2022」に引き続き、国産木材に特化した展示商談会**『WOOD COLLECTION 2022 JAPAN ReWOOD』**を開催する運びとなりました。

本会では、東京都をはじめ、道県から合計約65企業・団体が出展。建築資材や家具、雑貨など多彩な国産木材との出会いを提供します。

また、NPO 法人 team Timberize 理事の内海 彩氏や、林業・木材分野のフリージャーナリストの赤堀 楠雄氏など、木材業界の未来を見据えた国産木材の価値を発見できるセミナー、イベントを開催。

さらに個別商談ができる共有の商談コーナーの設置により商談を促します。

いま、国産木材を取り巻く環境は大きく変化しています。「ウッドショック」と呼ばれる世界的な木材不足やロシア産木材の輸入禁止措置により木材価格が高騰しています。その結果、国産木材の需要が急増しているものの供給が十分に行われていない状況になっています。また、脱炭素対策として、成長過程で二酸化炭素を吸収する森林の循環利用の重要性に各界が注目。高層ビル建材をはじめ、国産木材の新たな価値の創造及び幅広い産業への活用が期待されています。

そこで東京都では、「WOODコレクション（モクコレ）**2022**」に引き続き、国産木材に特化した展示商談会**『WOOD COLLECTION 2022 JAPAN ReWOOD』**を開催します。

開催期間：**2022**年**8**月**24**日（水）　～　**26**日（金）
時間：**10:00** ～ **17:00**
8月**26**日（金）のみ **16:30**まで
会　　場：東京都立産業貿易センター
浜松町館**2**階展示会場

JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2022
主催：（一社）日本ウッドデザイン協会

「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を表彰する制度です。

7月31日まで募集していましたが、「ウッドデザイン賞2022」では、最優秀賞として、農林水産大臣賞に加えて、新たに経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞が授与されます。

ウッドデザイン賞2022、
４つの大臣賞の授与が決定！
～最優秀賞として、農林水産大臣賞に加えて、新たに経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞が表彰されます～

JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2022
2022-7
PRESS RELEASE

2022年7月25日（月）
一般社団法人　日本ウッドデザイン協会

「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。
現在、募集中の「ウッドデザイン賞2022」では、最優秀賞として、従来の「農林水産大臣賞」に加えて、新たに「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」が授与されることが決定しました。
また、「建築・空間分野」の新たな審査員が決定しました。応募締切は7月31日（日）18時です。

「ウッドデザイン賞2022」公式サイト　https://www.wooddesign.jp/

■ 脱炭素を始め、多様化する時代のニーズに合わせ、４つの大臣賞が授与されます

木を使うことによって社会課題の解決を目指す活動を「ウッドデザイン」と定義し、ウッドデザイン賞はその優れた事例を広く公募、評価、顕彰する制度です。現在、募集中の「ウッドデザイン賞2022」において、多様な木の活用のデザインを通じて、「地域活性化と持続可能な森林経営の推進」「新たなライフスタイルやワークスタイルへの対応」「木造建築技術の振興や発展」「脱炭素社会へのシフト」等に貢献する最も優れた作品（最優秀賞）４点に、「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」が授与されることが決定しました（昨年度までは「農林水産大臣賞」のみ設定）。応募締切は7月31日（日）18時となっています。
主催は昨年11月に設立された「一般社団法人日本ウッドデザイン協会」。木を積極的に使い社会を変革するために多様な企業・組織・団体が集った組織です。ウッドデザイン賞2022は当協会としてさまざまな取組と連動します。

最優秀賞【農林水産大臣賞】１点　最優秀賞【経済産業大臣賞】１点　最優秀賞【国土交通大臣賞】１点　最優秀賞【環境大臣賞】１点
※すべての入賞の中から最も優れた作品

ライフスタイルデザイン部門
優秀賞　数点【林野庁長官賞】※本部門の入賞の中から特に優れた作品
奨励賞　数点【審査委員長賞】※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品

ハートフルデザイン部門
優秀賞　数点【林野庁長官賞】※本部門の入賞の中から特に優れた作品
奨励賞　数点【審査委員長賞】※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品

ソーシャルデザイン部門
優秀賞　数点【林野庁長官賞】※本部門の入賞の中から特に優れた作品
奨励賞　数点【審査委員長賞】※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品

最終審査にて選出
ウッドデザイン賞（入賞）

■「建築・空間分野」の新任の審査員が決定しました

「ウッドデザイン賞2022」の「建築・空間分野」の審査員に新たに原田真宏氏が就任しました。

原田真宏：建築家。マウントフジアーキテクツスタジオ主宰。1973年静岡県生まれ。芝浦工業大学大学院修士課程修了。隈研吾建築都市設計事務所、文化庁芸術家海外派遣研修員制度でスペイン・バルセロナのホセ・アントニオ＆エリアス・トレースアーキテクツ、磯崎新アトリエを経て、2003年に建築家の原田麻魚氏と共にマウントフジアーキテクツスタジオを設立。2017年より芝浦工業大学建築学部建築学科教授。

■スケジュール（予定）
2022年6月20日～7月31日応募期間（終了）
8月18日第一次審査結果通知
8月19日～8月31日第二次審査申請（書類）、エントリー料振込期間
9月14日～9月28日第二次審査期間（現物等審査）
10月6日ウッドデザイン賞（入賞）結果通知・発表
11月9日最優秀賞、優秀賞、奨励賞等発表
12月7日～12月9日「エコプロ2022」にて表彰式、受賞作品展示、セミナー等を実施

令和4年7月　国会の動き

《国会関連》
閉会中

《政党関連》
14日（木）政調、安全保障と土地法制に関する匿名委員会（重要土地等調査法の施行に向けた検討状況）
14日（木）内閣部会、安全保障部会合同会議（重要土地等調査法の施行に向けた検討状況）
22日（金）政調・総合農林政策調査会・食料安全保障に関する検討委員会・農林部会　合同会議（肥料価格高騰対策に対する団体要請について）

令和4年7月　業界の動き

4日（月）林業機械化協会　先進的林業機械緊急実証・普及事業の事業実施者を決定
4日（月）J-クレジット制度における森林管理プロジェクトの制度見直しへの意見募集結果を公表
8日（金）木材利用推進中央協議会の『木材利用優良施設等コンクール』募集開始
8日（金）第44回森喜作記念顕彰の受賞者を発表　第１部門（しいたけ等きのこ類の調査・研究及び普及）金子周平氏
20日（水）林野庁が民有林の無断伐採に係る都道府県調査結果を公表
25日（月）『ウッドデザイン賞2022』応募要項を発表
29日（金）林業機械化協会　「新しい林業」経営モデル実証事業の事業実施者を決定

林野庁人事異動　令和４年7月31日付～8月1日付

人事異動

林野庁
令和四年八月一日付

命	北海道森林管理局計画保全部調査官	北海道森林管理局 上川南部森林管理署長	北浦　眞吾
命	北海道森林管理局 上川南部森林管理署長	北海道森林管理局檜山森林管理署長	伊藤　俊之
命	大臣官房政策課政策情報分析官	大臣官房付	西浦　博之
命	林野庁林政部木材利用課付併任		

※　常用漢字等を使用しています。

人事異動

林野庁
令和四年七月三十一日付

退職		北海道森林管理局計画保全部調査官	目黒　雅典

※　常用漢字等を使用しています。

林野庁人事異動　令和４年7月31日付～8月1日付

人事異動

林　　野　　庁

令和4年8月1日付

新本務官職名称	併任	氏名	旧本務官職名称	併任
林野庁林政部企画課課長補佐（年次報告班担当）		中村　誠	関東森林管理局総務企画部企画調整課長	
林野庁森林整備部森林利用課課長補佐（緑化推進班担当）		藤原　智史	大臣官房政策課企画官	
	内閣府技官（大臣官房総務課みどりの学術賞及び式典担当室長補佐）			輸出・国際局総務課付
				輸出・国際局国際地域課付
				内閣事務官（内閣官房副長官補付）
林野庁森林整備部整備課企画班企画係長		加藤　裕樹	林野庁国有林野部経営企画課業務革新班企画係長	
林野庁森林整備部整備課付		遠山　千景	内閣府参事官補佐（政策統括官（経済財政運営担当）付参事官（国際経済担当）付）	
				内閣府本府経済財政国際室
林野庁森林整備部研究指導課課長補佐（調整）		加藤　靖之	林野庁林政部企画課課長補佐（年次報告班担当）	
林野庁森林整備部研究指導課森林除染技術開発企画班除染技術係長		平野　友幹	輸出・国際局国際経済課特恵関税班特恵関税第1係長	
林野庁国有林野部経営企画課企画官（森林づくり情報担当）		大野　泰宏	林野庁森林整備部研究指導課課長補佐（調整）	
林野庁国有林野部経営企画課森林施業調整官		田中　生	林野庁国有林野部経営企画課付	
北海道森林管理局総務企画部経理課長		德永　隆則	北海道森林管理局総務企画部業務調整課監査官	
				北海道森林管理局総務企画部総務課付
北海道森林管理局檜山森林管理署長		小笠原　正樹	北海道森林管理局総務企画部経理課長	
関東森林管理局総務企画部企画調整課長		東　大介	林野庁森林整備部森林利用課課長補佐（緑化推進班担当）	
				内閣府技官（大臣官房総務課みどりの学術賞及び式典担当室長補佐）

林野庁人事異動　令和４年7月31日付～8月1日付

人事異動

林　　野　　庁

令和4年8月1日付

新本務官職名称		氏名	旧本務官職名称	
	併任			併任
関東森林管理局森林整備部企画官（技術開発・普及担当）（利根沼田森林管理署）		須貝　栄	関東森林管理局福島森林管理署次長	
関東森林管理局福島森林管理署次長		金子　友次	関東森林管理局森林整備部資源活用課課長補佐	
大臣官房政策課企画官		田中　優哉	林野庁森林整備部研究指導課研究企画官	
	輸出・国際局総務課付			大臣官房政策課付
	輸出・国際局国際地域課付			
	内閣事務官（内閣官房副長官補付）			
林野庁林政部林政課		繁田　直樹	北海道森林管理局根釧西部森林管理署	
他省庁へ出向（内閣府技官（政策統括官（経済財政運営担当）付参事官（国際経済担当）付）へ）				
	内閣府本府経済財政国際室			